

若草園を支える会 会報

後援会だより

2023年(令和5年)5月24日発行 第54号

事務局：社会福祉法人 栄光会 若草園 内
〒787-0155 高知県四万十市下田 2 2 1 1
Tel (0880)33-0247/Fax 33-0518
ホームページ：https://wakakusaen.holy.jp/sasaeru
会長：矢野川 研 編集：瀬戸雅弘



取引口座 ゆうちょ銀行 01610-5-9632 社会福祉法人 栄光会 若草園
幡多信用金庫 下田支店(普) 83497 若草園を支える会 会長 矢野川研

機関紙『わかくさ』第64号を同封しております。

◆卒園生にお祝い金を贈る

3月19日(日曜日)夕方、卒園式にて若草園を巣立っていく子どもに若草園を支える会からお祝い金をプレゼントしました。去年はコロナ感染者が出たため卒園式が中止となりましたので2年ぶりの開催となりました。式典は感染拡大に配慮するため来賓を制限し、幡多農業高等学校の担任教師、幡多児童相談所と高知県子ども家庭課の担当職員、法人役員などの10名のみにご出席頂きました。

今年の卒園生は男児1名のみです。小学校高学年から若草園にやってきて約7年間をすごしました。裏面に卒園生の礼状を掲載しています。



御祝儀を贈呈する矢野川会長 ▲

◆ホーム活動支援金報告

2021年度からの若草園を支える会の新しい取り組み「ホーム活動支援金」は、若草園の在園児童の教養娯楽のために、寄せられた浄財を有効活用していく事を目的に設立され、2年目が経ちました。これを活用して各ホームが活動をしました。裏面に、各ホーム活動の様子を掲載しています。

ホーム	申請日 予定金額	実施日 実施金額	内 容 場所など	子供人数 大人人数	
A	R5. 2.28 50,000	R5. 3.8 30,270	受験おつかれ様会 寿司一貫→スシロー	5 4	
	B	R4. 11.22 7,000	R4. 11.23 7,000	一條祭り参加、露天や外食をたのしむ 一条通露天など	5 2
B		R5. 3.25 40,000	R5. 3.25 31,130	小学校卒業祝いパーティー カルビ焼き大福	5 4
	C	R4. 11.19 10,000	R4. 11.23 10,000	一條さん外食 ハタズキッチン	4 4
C		R5. 2.14 5,000	R5. 2.16 5,000	誕生日会の食材購入補填 誕生日の好きなエビをたくさん皿鉢にしてもらう	4 5
	C	R5. 3.7 5,000	R5. 3.14 5,000	誕生日会の食材購入補填 2月生まれ児の弟の誕生日に同じ皿鉢をたのむ	4 3
平野		R4. 11.22 7,000	R4. 11.23 7,359	一條さん外食 ジョイフル、高校生2人は別行動	5 2
平野	R5. 1.5 33,000	R5. 1.7-8 25,562	岡山旅行(卒園生とのお別れ旅行) 讃岐うどん屋2軒はしご等	5 3	
平野	R5. 3.1 7,438	R5. 3.21 7,438	ホームお別れパーティー 卒園生出発前日に焼き肉、お寿司を楽しむ	5 3	
具同	R5. 3 40,465	R5. 3.26-27 40,465	ホーム旅行(小中卒業祝い) レオマワールド、チサンホテル、金比羅宮、焼き肉	5 3	
合計	204,903	169,224		参加延べ子供人数 参加延べ大人人数	47 33



☒事務局直通メール
wakakusaenjimu
@
dream.ocn.ne.jp

若草園の機関誌
や支える会の会報
をお知り合いの方
にご紹介下さい。



お礼状

若草園を支える会の皆様へ
 この度は支える会の皆様より支度金をいただきまして
 ありがとうございます。僕は四月からサンタ株式会社という
 食品製造会社に就職します。ハーゲンダッツなどのアイスを
 作っている会社です。

始めての一人暮らしや仕事がんばるもののが想像がつかず不安
 なことはかりですが園の職員さんから教えてもらったことや、三年
 間アルバイトで身につけた経験をもれずに頑張っていきたいと
 思います。また、体の健康にも気をつけて自炊をしながら
 節約にも取り組んで生活していきたいと思っています。

皆様からいただいた支度金は大切に使用させていただきます。
 本当にありがとうございました。

カナムくん

◆ホーム活動報告

ホーム活動支援金を活用した若草園各ホームの活動の様子です。



●誕生日会のケース

Cホームは誕生日会食の充実のために支援金を2回活用しました。若草園では各ホームで誕生会をする場合、公平の為に食材費は1人当たり約800円にしています。今回の誕生会では誕生児が好きなエビをたくさん食べさせて上げるために申請しました。仕出し屋に刺身盛りを頼んだところ子供達にとっては特別感があり、どの子供も喜んでよく食べました。3月にはこの弟が誕生日を迎えたので兄の時と同じように刺身盛りを頼みました。



●ホーム旅行のケース

平野ホームと具同ホームは支援金を最大限に活用して大掛かりなホーム旅行を計画しました。今年から若草園を支える会のホーム活動支援金は1ホーム1年間5万円としましたが、若草園のホーム活動費もこれに合わせるように5万円となりました。ちなみに今までは1人3千円でした。

これを併せて活用し、平野ホームは香川・岡山へ、具同ホームは香川へ出かけました。平野ホームの旅の様子は機関誌『わかくさ』前月号に詳しく掲載されています。今回の『わかくさ』にはお別れ遠足の様子も載っていますが、このようにホーム単位で、卒園していく子供とゆっくり時間を過ごすホーム旅行や、小中学校を卒業した子供のいるホームが特別な旅行を企画・実施するためにも有効に活用することが出来ました。

ありがとうございました。



◆コロナ期の発送作業

若草園を支える会の機関誌発送作業は会員有志のボランティア活動や、高知保護観察所の社会貢献活動によりおこなわれていますが、この3年間はまん延防止の理由で「あゆみ共同作業所」に何度かお願いしました。

5月になって新型コロナウイルス COVID-19はインフルエンザ並の扱いとなつて社会生活も3年前の状態に戻りつつあります。若草園を支える会の会員の皆様の中で、発送作業ボランティアに参加しても良いという方がありましたら事務局まで御一報ください。次回から案内ハガキをお届けします。現在15名が登録してくださっています。

◀ あゆみ共同作業所

